第21号
2016年7月

季刊 えこびと

幸せの「木」色い積み木キャラバン隊の寿恵野こども園訪問の様子

特 集 **第８回通常総会開催　／　エコットフェスタ 2016**

エコなかま　　エコットクッキング
　　Ｐ＆Ｐ（フォト＆ポエジー）
写真で見る活動トピックス（2016 年４月～６月）
活動レポート
読んで得するエコネタ
エコびと紹介　　安藤良江さん
事務局便り

Ｐ＆Ｐ特選句　４月　無人駅に一鉢置かる花すみれ（智）
　　５月　潮干狩一つ採っては母に見せ（信子）
　　６月　幼児の息詰めて見る初蛍　　（虹村）

このミニ冊子は持続可能で豊かな地域社会（エコライフとよた）の実現を目指す
NPO 法人とよたエコ人プロジェクトが発行しています。

特　集

●レポート１

第８回通常総会開催

７月 23 日(土)に市民活動センターにて、NPO 法人とよたエコ人プロジェクトの通常総会と記念講演会として「気候変動に地域から挑戦する」を開催しました。

講演会は、豊田市環境審議委員も務める杉山範子先生（名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授）です。気象キャスターをされていたということもあって、2100 年の天気予報を LIVE で聞くことができました。

地球温暖化はすでに始まっていて不可逆な状態（元に戻せない）まであとわずか、個人の努力には限界があって社会システムを変えていかないと太刀打ちできないという話が印象に残りました。講演の最後に「風が吹けば桶屋が儲かる」を例えに、「地球温暖化になると…」を隣の人と話し合いました。参加者の一人が「温暖化になるとイリョウ（衣料）が薄着になる、薄着になると寒いところと暑いところに出入りしてヒートショックが増える、そしてイリョウ（医療）が上がる」という見事な発表をしてくれました。

総会の方は、理事の横井さんを議長に、代表の坂本と事務局の小泉が議案書を説明し 2015 年度の事業報告と収支決算を正会員に承認していただき、2016 年度事業計画、収支予算を報告しました。

総会終了後は有志で、喫茶店でジュースやビールで喉を潤し、暑気払いをしました。（坂本竜児）

（第８回定時総会の様子）

●レポート２

エコットフェスタ 2016

eco-T の９周年をみんなでお祝いするイベント「エコットフェスタ 2016」を、６月４日(土)、５日（日）に開催しました。今年ははじめての２日間開催！

（エコットフェスタ 2016 の集合写真）

◆２R への取り組み

４日（土）にリユースひろばを開催。今年も事前にたくさんの提供があり、リユースへの関心の高まりも感じました。今年も寄付を募り、いただいた 47,283 円は熊本地震の支援に取り組む団体への寄付金としました。

◆雨でも元気！

５日(日)は朝からあいにくの雨模様。ですが、インプリさんによる屋台村やエコットマルシェなどおなじみのブースは大盛況！今年はお笑い劇団笑劇派さんのご協力で「エコ玉合戦」を開催。工作にお笑いに大活躍いただき、とっても盛り上げていただきました！

◆何回行っても学びがあるね～

今年は、来場者のペースでクイズラリーをしながらクリーンセンターを自由に見学できるようにしました。リピーターの方にも楽しんでもらえたようです！クイズラリーの景品の渡刈ＣＣ＆パッカー車の缶バッジも大人気でした！

２日間で約 1,500 人に来場いただきました！今年もたくさんの方のご協力のもと、とてもよいイベントとなりました。ありがとうございました。

来年はいよいよ 10 周年！これまで以上に、感謝と成果のみえるエコットフェスタにしていきましょう！（福間陽子）

<――――――――――●エコなかま①
エコットクッキング
――――――――――――――――――――――>

私たちは料理を通して多くの人にエコについて自分にできることを見つけるお手伝いをしています。

・エコな買い物をして簡単で楽しくできる料理の方法（食品ロスなど）
・“いただきます！”といって食卓に向かう習慣を守ることの大切さ
・エコな後片付けの小さな工夫や水の大切さ
などについて心がけています。

前回（7月10日）の講座は“～夏野菜を食べよう～焼きそばとスイカパンチ”でした。

調理の様子

野菜たっぷり、地産地食、旬の食材を考えながらのバランス良いレシピでした。担当したグループの野菜が苦手なこども達も自分で調理することでパクパク食べている姿を目にしました。
これからも参加者のみなさまが笑顔で幸せな心地よいレッスンになるようあたたかい雰囲気で自慢の一皿を生み出す場所になれたらとっても嬉しいです。Let's enjoy cooking！
（by のんちゃん）

（試作後の集合写真）

<――――――――――●エコなかま②
クラブＰ＆Ｐ（フォト＆ポエジー）
――――――――――――――――――――――>

クラブＰ＆Ｐは俳句・川柳・写真を楽しむ人が集まって新しいメッセージの形を作り発表するとともに、豊田市のエコ川柳・俳句募集のセンターとなる事を目的に活動しています。

句会は毎月第４金曜日に開催、本年６月に累計100回を達成しました。句会では、ＴＶで人気の「毒舌俳人」夏井いつき氏ばりの辛口コメントが飛び交うなどワイワイ・ガヤガヤと楽しんでいます。

（100回記念句会～落合先生を囲んで～）

また毎年、小学生から一般の方までエコ川柳・俳句を募集し今年は757句の応募がありました。この他、一般市民向けの俳句講座や小学校の俳句指導なども行っています。

（小学校への出前授業）

（エコットフェスタ時の
エコ川柳・俳句コーナー）

さあ、あなたも「想い出の写真に添えるあなたの詩」を作ってみませんか。（by よこたん）

写真で見る活動トピックス

2016 年 4 月～6 月

●いろいろな水力発電を見に行こう（4/24）

馬籠など３ヶ所の小水力発電所を見に行きました。

●今年も公共施設見学スタート（5/10～）

●第１回とよた社会的起業フェスタに「hiboco」出展（5/14）

●ふれ愛フェスタ出展（5/22）

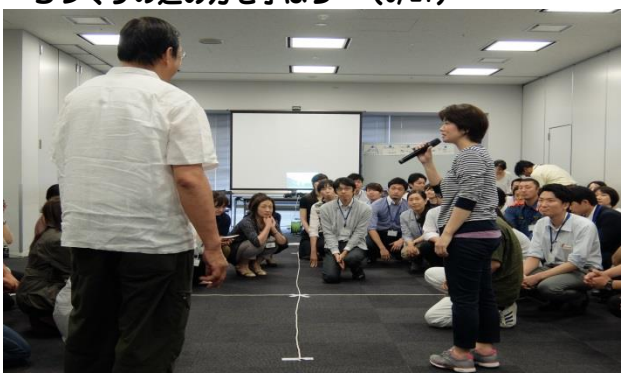
●幸せの「木」色い積み木キャラバン隊出発式（6/1）

育成講座や研修を経た積み木キャラバン隊による木育ワークショップ活動がスタート。

●エコットフェスタ 2016（6/4,6/5）

リユースひろばの様子。今年も大盛況でした。

●地域づくりコーディネーター研修～地域を歩いてまちづくりの進め方を学ぼう～（6/21）



●「いいじゃん、矢作川!もっといい川にしよまい!」豊田市矢作川研究所研究成果報告会（6/25）

●レポート１――――――――――――――――――――>

くらしの環境学習推進校
出前講座が実施されました

<――――――――――――――――――――――――――――

５・６・７月は公共施設見学が集中していることもあり、推進校で出前授業が実施されました。（通常の学校は公共施設見学のみですが、推進校は見学前の事前授業・見学後のふりかえり授業を行なっています。）

たくさんのインタープリターが小学校に出向き、活躍していました。

推進校の先生からのアンケートでは「学習効果が高まった」などの回答をたくさん頂きました。公共施設見学のふりかえりでも、インタープリターのみなさんから「出前授業を行った推進校の児童たちは質問が多く、よく勉強している」と、事前授業の効果を実感する意見が多くありました。

先生方から頂いたアンケートを一部紹介します。

～子どもたちにどんな変化がありましたか？～

- ●ごみの分別にとても興味を持つようになった。
- ●リサイクルという言葉だけでなく、リユース、リデュースという言葉も出てきた。
- ●体操ズボンにエコマークがついているのを見つけ、「こんな物に変わるんだ」「自分たちもエコなものを使っているんだ」とエコに関心をもつようになった。
- ●ごみを身近なものに感じ少しでもごみを減らす工夫を考えるようになった
- ●エコマークの付いた商品を見つけると大事に使うようになった。
- ●食品トレーをプラごみではなくトレー回収BOXに持っていく子が出てきた。
- ●自分でできる取り組みについて考え実践したり、トレーやびんの回収など、できることから学びを実践している子もでてきた。

８月には推進校の意見交換会もありますので、みなさんから貴重な意見を頂けると思います。
９月以降も多くの出前授業が予定されています。

（笠井和男）

●レポート２――――――――――――――――――――>

くらしの環境学習推進校
学習コーディネーター

<――――――――――――――――――――――――――――

エコットの環境学習コーディネーターが学校へ出向き、学習のねらいやプログラムの構成について、先生と打合せを行いました。小学４年生は春先にごみの学習をする学校が多く、授業の進み具合をうかがいながら授業のプログラムについて話し合いました。

（学校対応説明会の様子）

今年は推進校をプランＡ（既存プログラム）とプランＢ（児童の学びに合わせて組み立て）に分けました。プラン Ｂ では、渡刈クリーンセンター・エコットの見学後、先生がふりかえり授業を行ない、児童の興味・関心、疑問を引き出した後、事後授業の内容を学習コーディネーターと相談しプログラムを作成します。

今までは、ごみの授業で終わっていましたが、児童の学びに合わせて授業を組み立てて温暖化の授業などにつなげることにより、学びの幅が広がりました。（笠井和男）

（小学校での授業の様子）

覚えていますか？2011 年の夏、東日本大震災の影響で電力不足が懸念され、大規模停電の恐れがあった、あの夏のことを。前年比より平均 10%、約３割の家庭が 15%以上の節電が達成されたという調査結果があります。

豊田市では今年も「とよたクールシェア」と称して、夏の電力ピーク時間帯（午後 1 時から 4 時頃まで）に家庭のエアコンを消して涼しい場所をみんなで共有し、家庭での節電を促す取り組みを始めました。豊田市の取り組みの特徴を紹介します。

1．クールシェア協力店でクーポンを使うと、様々な特典が受けられます。

例えば、飲食代金 10%ＯＦＦ、おまんじゅうプレゼント、ランチのデザートが無料などなど。100 店以上の協力店があります。

2．キーワードラリーに参加すると とよたエコポイントが 200Ｐもらえます。

まちなかのクールシェア協力店からキーワード２つ、農山村で開催されるイベント会場や山間部のクールシェア協力店で１つ、合計３つのキーワードを集めます。キーワードは、豊田市にゆかりのある言葉となっています。

3．クールシェア実施報告をするとエコポイントが 100Ｐもらえます。

期間中に取り組んだクールシェアを豊田市役所に報告します。もしかしたら、とよたエコポイントナビ（エコポイントのＨＰ）で掲載されるかもしれません。

詳しくは、とよたクールシェアの冊子かとよたエコポイントナビをご覧ください。

eco-T では、来館ポイントが 10P もらえる上に、お菓子の箱や段ボールで作った海の生き物を釣る「釣って！eco-T」や列車のおもちゃを走らせる「レールパーク（8/9～8/21）」で、クーシェアを応援しています。

（昨年のレールパークの様子）

ちなみに、エアコンはこまめに切らない方が節電になるって知っていました？エアコンは運転を開始するときに多くの電気を使うそうです。ちょっとくらいの外出や部屋の中が十分冷えたら設定温度を上げておけば、エアコンはほとんど動かず、節電になります。（坂本竜児）

8,9,10 月の家庭のエコ度をチェックすると最大 65P もらえます。詳しくはエコポイントナビで！

エコットインタープリター　安藤（あんどう） 良江（よしえ）さん

今回は、インタープリターの安藤良江さんに、
『生ごみを出さない暮らし』について
インタビューしました。
（インタビュアー：本田昭二）

1）安藤さんが、『ごみを出さないくらし』に関心をもち始められたきっかけは何ですか？

私が出産したときに、母が家に来てくれて、『生ごみを溜めておいて』と言い、私は母が生ごみを畑に埋めてごみを畑の肥やしに利用しているのを見ていました。

その後、生協（メグリア）の共同購入で『コンポスト』を購入し、生ごみを出さない暮らしを始めました。母は大正生まれで、厳しい時代を生き抜いてきたため、何事にも『もったいない』を私に教えてくれました。

2）家庭で生ごみを出さない暮らしを具体的に教えてください。

最初は、コンポストを使っていましたが、置き場所を定期的に変えなければならず、限られた家庭の庭では限界があるので、『ぼかし』を活用した生ごみ処理に変えました。

次に、生ごみ処理機が発売されたため、10 年ほど使い、現在では、熱風を使った生ごみ処理機を、市の補助制度を活用して購入し、100%生ごみを処理し、家庭菜園のたい肥に活用しています。（※市の補助制度は最初の処理機の時にもあったと思います。）

3）生ごみを出さない暮らしを継続できる秘訣と、アドバイスを聞かせてください。

特に夏場は、生ごみを溜めて置けば臭いが気になりますが、生ごみ処理すれば臭いません。家庭菜園の野菜も、自家製のたい肥を入れると美味しい野菜が採れます。しかもごみを出す量が大幅に低減できます。豊田市の半額補助制度を使って、まずチャレンジしてみてください。

4）安藤さんが、今楽しいことを教えてください。

エコットの仲間と見学対応や出前などをやることが楽しいですが、他には、豊寿園で日舞、お茶のお稽古、合唱団の活動、友達とランチでおしゃべりすることが楽しいです。娘が時々孫と遊びに来てくれるのも楽しみです。

5）『えこびと』の活動についてご意見がありましたらお願いします。

エコットの事務局の皆さんの笑顔と励ましでインプリ活動を続けられており感謝しています。これからも、笑顔がいっぱいのエコットであるといいですね。

（生ごみ処理機のたい肥で育った野菜）

（熱風を使った生ごみ処理機）

エコ人からのお知らせ

新規会員募集中！

〔会員特典〕

- ほぼ季刊で「えこびと」をお届けします。
- 会員メーリングリストに登録できます。講座やイベント、世の中のエコ情報が届きます（不規則）。
- 講座やイベントに会員特典（参加費の割引など）を受けられることがあります。
- e-cafe チケット３枚プレゼント！
  コーヒーを飲みながらエコ井戸端会議、
  eco-T で毎週木曜日に開催しています。
- 少人数の会議や作業などで事務所を利用できます。

＊入会方法については、お気軽にスタッフや理事にお問合せください。

〔会費〕

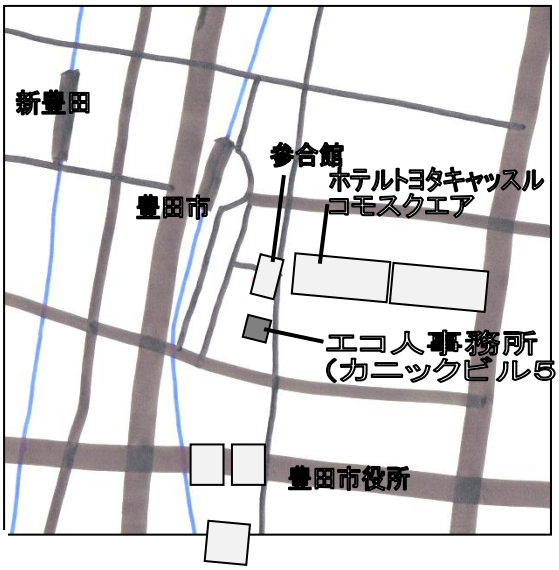
正会員	10,000 円（議決権あり）	
賛助会員	一　般	1,000 円／口
	学　生	500 円／口
	非営利団体	3,000 円／口
	営利団体	10,000 円／口

＊エコ人の年度は６月～５月です。

〔現在の会員数〕

正会員 22 人、賛助会員 49 人・３団体

〔エコ人プロジェクト事務所 MAP〕



３大イベント！エコットキッズタウン開催

今年もeco-Tに『こどものまち』が出現！子どもたちが、まち役場や銀行で働いたり、お店を出したりして、楽しく社会の仕組みを学びます。大人は子どもたちが主催するまちツアーで見学ができます！

（昨年の様子）

今年（８/１～８/４）の様子は次号の季刊えこびとでお見せします。

未来へのエコットーク 2016！「地域の食文化の継承が重要な理由」

９月 17 日（土）中部大学応用生物学部教授の小川宣子さんをお迎えし、今年度３回目のエコットークを開催します。伝統的な日本型食文化の背景にある「おもいやりの心、感謝の気持ち」などをご講演いただきます。ぜひ参加ください。

編集後記

６、７月は新たな挑戦が盛りだくさん！

２日間開催しパワーアップしたエコットフェスタ。初開催の木育キャラバン。幸せの黄色いキャラバン隊など忙しくも充実したeco-T でした。７月 23 日にはエコ人プロジェクトの第８回通常総会が開催され、事業報告・決算、事業計画・予算を会員のみなさんに説明し、承認をいただきました。ありがとうございます。（堀田）

発行・編集　NPO 法人 とよたエコ人（びと）プロジェクト

〒471-0025　愛知県豊田市西町 1-88 カニックビル５階
TEL：0565-50-5684　FAX：0565-50-5568
メール：info@t-ecobito.jp
ホームページ：http://t-ecobito.jp/【新しくなりました！】

最新情報はホームページへ
とよたエコ人　検索